

作成日：西暦 2026 年 08 月 03 日

## 研究に関するホームページ上の情報公開文書

**研究課題名：**昼食にかかる時間・形態が1日の食事パターンに与える影響

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

### 1. 研究の対象

1. 大府市職員もしくは大府商工会議所の会員企業の従業員
2. 研究参加時、20 歳以上 75 歳未満の方
3. 対象期間は 2026 年 10 月から 2028 年 9 月までです。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

本研究では、研究対象者に 22 項目からなる食習慣に関する質問を行います。食品摂取の多様性は、肉類、魚介類、卵類、乳製品、大豆・大豆製品、緑黄色野菜、果物、海藻類および芋類の 9 食品群に、毎日摂取するものと仮定した油脂類を加えた計 10 食品群を用いて評価します。各食品群の摂取頻度に基づいてシャノン指数を算出し、個人の食品多様性指標とします。はじめに、シャノン指数を目的変数、年齢、性別、世帯人数、自炊の有無、BMI、食事の早さ（もしくは昼食にかかる時間、昼食の形態）を説明変数とした多変量回帰分析を行い、食品多様性に関連する因子を検討します。次に、昼食にかけられる時間および昼食形態（主食中心の食事、おかずを組み合わせた食事、昼食を食べない）と、9 食品群の摂取パターンとの関連を検討します。9 食品群の摂取頻度を応答変数とする冗長性分析（redundancy analysis：RDA）を行い、年齢、性別などの交絡因子を調整したうえで、昼食時間および昼食形態による食品摂取パターンの違いを可視化・評価します。これらの解析により、食品多様性の高さおよび望ましい食品摂取パターンと関連する昼食の時間的条件と昼食形態を明らかにします。

本研究で得られた成果は、学会発表や学術論文等を通じて公表する予定です。

研究期間：実施許可日～2029 年 3 月 31 日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報は質問に答えた項目です。

## 質問表

年齢、性別、身長、体重、20歳の時の体重、世帯人数、自炊の有無、食べるスピード、就寝時食事の有無、朝食欠食の有無、昼食の形態、昼食にかけられる時間。9品目の食事頻度（肉や肉の加工品、魚介類や魚の加工品、卵、牛乳および乳製品、大豆および大豆製品、緑黄色野菜、海藻、果物、芋類）

## 4. 外部への試料・情報の提供

該当しません。

## 5. 研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学医学部臨床栄養学講座 教授 飯塚勝美

情報の提供のみを行う機関：

### 研究協力機関

大府市役所 健康未来部 健康未来推進課

愛知県大府市中央町 5-70

担当者 久野 義鎮、敲森 郁美

役割 市役所職員に対するアンケート結果の集計、提供

大府商工会議所 総務企画課

愛知県大府市中央町 5-70

担当者 竹内 裕美

役割 大府商工会議所の会員企業の従業員に対するアンケート結果の集計、提供

## 6. 除外の申出・お問い合わせ先

無記名の質問表のため個人を特定することができず、研究から除外（オプトアウト）することができません。本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 医学部 臨床栄養学講座

担当者：教授 飯塚 勝美

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-2329

e-mail:katsumi.iizuka@fujita-hu.ac.jp

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。質問表の集計データに関して、大府市役所及び大府商工会議所より提供を受けますが、大府市役所及び大府商工会議所は研究の実施（統計・解析・論文作成）に関与する業務のすべてを含む）に対して一切関与しません。